

「謙信の義塩伝説」から450年

松本あめ市

平成三十年

一月十三日(土)・十四日(日)

「松本あめ市」の起源とされている戦国の故事に「敵に塩を送る」で有名な「謙信の義塩」伝説があります。

戦国時代、甲斐の武田信玄を抑えるために今川氏・北条氏が甲州と信州へ塩を送ることを禁じたことを知った上杉謙信は、何の罪もない武田領の人々が困窮することを想い、敵将である武田信玄に「義塩」を送ったと言いつづけています。

松本の地にも「義塩」は届き、これを感謝して始まった「塩市」が「松本あめ市」の起源とされています。今年も、松本の地に「義塩」が届いたとされる永禄12年(一五六九)1月11日から450年の節目の年を迎えました。

● 主要イベント

- 松本あめ市時代行列
- 全国あめ博覧会・即売会
- あめ市歴史展示く福の神とあめ市
- 神輿のお練り
- 太鼓連と舞踊の競演
- 松本城大手門枡形跡広場物産市
- 各種イベント

● 十四日(日) 中心商店街歩行者天国

主催／松本あめ市実行委員会
後援／松本市教育委員会 松本商工会議所 松本観光コンベンション協会
松本商店街連盟 第2地区町会連合会 中央地区町会連合会 松本広域連合 松本青年会議所

一月十一日は「塩の日」

